

## 令和3年度 第1回津奈木町総合教育会議録

1 期 日 令和3年11月18日（木） 開会 午後1時30分  
閉会 午後3時10分

2 場 所 津奈木町役場2階会議室

3 出席者（6名）

津奈木町長 山田豊隆、教育長 塩山一之、  
教育委員 福田征起、林田雄二、雑賀優美、瀧上幸哉

4 欠席者

なし

5 出席事務局職員

教育課長 岡松辰哉、総務課長 吉澤信久、総務課 永松伸也

6 出席を要請し、出席した者

なし

7 傍聴者

なし

8 会議内容

○教育委員会からの報告

- (1) 学校教育について
- (2) 生涯学習について

○議題

- (1) 教育行政について
  - ・就学前教育について（幼稚園の運営） ※非公開
  - (2) 教育を行うための諸条件の整備など重点的に講ずる施策について
    - ・特別支援学級の新設 ※非公開
    - ・学校教育及び生涯学習の充実
  - (3) その他（意見交換）

9 会議録

吉澤課長：皆様お集まりのようなので、只今から令和3年度第1回津奈木町総合教育会議を始めさせていただきます。先ず始めに町長から挨拶をお願いします。

町長：みなさん、こんにちは。今日はお忙しい中に津奈木町総合教育会議にお集まりいただきありがとうございます。そして日頃から町政、また教育行政に皆様のご協力をいただいておりますことに厚くお御礼を申し上げます。本日は教育委員会らの報告や教育行政について、教育を行うための諸条件、重点事項など協議をいただきたいと思います。現在はご承知のとおりコロナ禍の中での教育が津奈木町でも心配なことが起こってしまいました。生徒、児童

にタブレットを1人1台配布しているところでありまして、それを使った教育をこれからどうやって行っていくのかで、日本でもタブレットを使った或いはいじめとか負の面がでてきているところがございます。それもみなさんと一緒にタブレットを使ってどのような教育を行っていくのかご協力をお願いしたいと思います。これからICTとかGIGAスクールとか政府もデジタルの動きがありますので教育、行政もデジタル化が進んでくると思いますのでご協力をお願い申し上げまして挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしく申し上げます。

吉澤課長：ありがとうございました。それでは、会議次第に従いまして進行していきますのでよろしく申し上げます。まず、教育委員会からの報告ということで教育長からお願いします。

教育長：(概要説明 以下要旨)

#### 【報告】

(1) 学校教育について

- ①学級編制 ②学力向上 ③いじめ、不登校 ④中学校部活動の社会体育化の動き
- ⑤教職員の働き方改革

(2) 生涯学習について

- ①社会体育・町民体育祭等の在り方 ②少子高齢化を迎えた生涯学習の在り方
- ③本町の子どもの育成に係る対応

吉澤課長：町長の方から何かありますか。

町長：タブレットの件がありましたが、先ほど申し上げましたとおりこれからタブレットを使ったどういった教育をしていくのか、また、いじめとか全国的に取り上げられていますので子どもたちの健全な教育に力をいれていただきたい。

教育長：タブレットを使って意見を出しあったり、資料作成をしたり自分たちで活用をやっていきます。そういうのも身につけてきているのではないかと考えています。26日に中学校の経営訪問を行います。委員の皆さんも参加もお願いします。町長もいかがですか。それから先だつて行われました県中体連の駅伝大会では男子が11位、女子が21位の結果でした。男子では1, 2, 3区で上位に4, 5で少し落ちたけれどアンカーで巻き返しました。女子、男子いずれにしてもその時の体調等もあるかと思いますが、よく頑張ってくれたかなと思っています。

林田委員：英検3級の合格率が55.9%は、他校と比べてどうなのか。

教育長：他校との比較は行っていません。英検は学習以外ですができれば中学校を卒業するまで3級を取得してほしいと県も思っています。津奈木町でも県が始める前から補助金を出して実施しています。

林田委員：他校との比較がないと合格率が高いのか低いのか分からないから。

教育長：分かった時はお知らせします。

町長：A L Tの2人目は。

教育長：A L Tの2人目は来週の22日月曜日に来ます。テネシー州からで名前がリチャードソン・カリー・ベアトリスです。現在、東京に2週間滞在し月曜日に迎えに行きます。

吉澤課長：他に質問はないですか。それでは議題に入っていきます。議題の議事進行は町長をお願いします。

#### 【議題】

町長：私の方で議事進行を行います。議題1の教育行政の大綱について、就学前教育の幼稚園運営について説明をお願いします。

#### 【プライバシー保護のため非公開】

町長：それでは、教育行政についてはこれで終わります。次に教育を行うための諸条件の整備、重点的に講ずる施策についてを議題とします。

#### 【プライバシー保護のため非公開】

町長：学校教育及び生涯学習の充実について説明をお願いします。

教育長：これにつきましては、町の方からのご要望等がありましたらお願いします。教育委員会の方では先ほど報告しました内容で進めていますので町からのご要望等を。

町長：生涯学習で、いろんな講座を行っていますが募集してもなかなか人数が集まらない。

教育長：今盛況なのが、スマホ教室です。他に絵本の読み聞かせをやっています。学校の方でもやっていますが。他にも検討していかなければ。

町長：現在は、デジタルの進歩する中で読み聞かせはアナログ的なものは本来の人間の姿と言いますかそういうのを増幅させる気がします。昔のレコードも今のCDより優しい音というか結構それを聞きたいという風になっています。

教育長：委員さんの方から何かありますか。

林田委員：町内の施設でWi-Fiが使える施設は。

永松：四季彩、グリーンゲイト、文化センター。

吉澤課長：あと津奈木駅です。

福田委員：フリーなのは。

吉澤課長：全部です。

岡松課長：文化センターは、1度パスワードを入れたら次から切り替わります。

吉澤課長：もう少し広げてもいいと思います。

教育長：先日の子ども議会の答弁でもありました。

町長：図書館は

岡松課長：図書館もあります。文化センター、教育委員会もあります。

雑賀委員：この前、文化財保護委員会がありまして、私も入ったばかりなので詳しくは分かりませんが。その中で岡松壮一郎さんが自分が持っている資料を渡して町誌の下巻を作ってほしい話がありました。4人の委員がいますがそれを分けてとなると負担が大きくなるので、今は美術館とかで専門の方とかが来られますけど、歴史とかの専門の方に見ていただいて。町の財産にもなるので作った方がいいと。お元気な内にお話も聞けると思うので予算を付けて頂いて早めに取り掛かった方が良いのでは。

町長：上巻を作った時は、編さん委託料かなにか予算化したのではなかったか。

吉澤課長：平成5年の頃で。

町長：岡松さんが全部作ったのではなく、委託してじゃなかったか。

吉澤課長：出版会社に委託して。

福田委員：全世帯に配った。

岡松課長：町誌の上巻を見ると編成委員が10名くらい居まして、時代によって担当を分けて作られていました。岡松壮一郎さんから直接電話がありまして、家に資料があるのでどうかしたい。と話がありましたので、先ほどの文化財保護委員会にどうか引き継げないかと話をしたところですが、なかなか専門性があり難しいと。教育委員会としては、資料までは頂いてというところまではきたのですが、図書館の方に保管できればと。上巻の資料も図書館にあります。まだ、今後については白紙の状態です。専門性がありすぎて我々には手が付けられません。

町長：コンサルみたいな所があれば編集してくれないのかな。他の町でも色々町誌とか作っているの、どうやって作ったのか聞かれたら。

福田委員：学校誌ですら四苦八苦したので。

林田委員：私も芦北の熊日に1週間くらい通って資料の提供をしてもらったり、90何歳の方にお話しを聞いたり大変でした。

福田委員：津奈木町の歴史として大切ですから。

雑賀委員：専門の方をお願いします。お金はかかるとは思いますが。歴史研究者みたいな方をお願いした方が。私たちが聞いても分からないので。分からない方に話をしていただき、助言もあると思うので進み方も早くなると思います。ご本人さんも心配されてて

福田委員：郷土誌の専門家がどこかには居ると思うし。

- 教育長 : 芦北には居るみたいで。
- 町長 : このような編集する補助事業とかないのか。
- 吉澤課長 : おそらく補助はないでしょうね。
- 林田委員 : 話は変わりますが、赤崎の将軍神社がありますけど。11月4日に祭りがあります。佐々木区長が分厚い本をお持ちでニチラ？将軍の話でだいぶ古い本で暇になった時に読んでみたいと思いますが、平国、福浦、赤崎、大泊とありますがこの辺に最初に人が住んだのが分かるみたいで、町全体でもそのように調べていたら面白いのではないかと。ニチラ？将軍はもともと芦北の人で朝鮮に行って偉くなって将軍になって帰ってきた。奈良で裏切られて殺されかけてこっちに帰ってきた。赤崎にあがって芦北に行ったという話になっている。本当だろうかとその本を読んだら分かる。
- 町長 : それなら適任じゃないですか。
- 林田委員 : 私も興味あって読もうと思うけど。
- 町長 : 編集員としてぜひお願いします。
- 林田委員 : 話は変わりますが、ICT教育とありますけれど、教育長の資料ではWi-Fiの関係でオフラインで使用したとあります。15%くらいがその環境にない家庭なので、町の方で何とか補助できないか。少なくとも子どもが居る家庭に設置するということができないか。そういった構想ができないか。
- 町長 : 子ども議会の中でもその質問がありました。答弁で自分で設置した人と設置できない人が居る中で子どもの学習環境の整備は国が支援すべきと思っています。他の市町村もそのような状況だと思っています。デジタル構想の中での話なので。
- 林田委員 : 各自治体の状況も国に上げてもらって。オンラインじゃないと本当のリモート教育はできない。各家庭には必要です。
- 町長 : 全国的な構想ですので町単独で行っても。
- 福田委員 : 子どもの居る世帯は入れ替っていきますので、単発で行っても効果がない。町が補助するとなると自分では付けられない人が多くなる。全世帯となってくると多額のお金が必要となるので、費用対効果を見ないと。
- 町長 : 膨大な教育予算が必要ですね。タブレット機器も10年くらいには交換しないとイケないし、少しの補助はあるものの難しい課題です。
- 教育長 : 市のホームページを見てみますと総合教育会議の内容や教育大綱が掲載されています。町のホームページには見つかりませんので町の方でも掲載をお願いします。
- 永松 : 現在は、掲載しています。
- 教育長 : 町の大綱も5年以上経過していますので、次の総合教育会議で議題として見直しを私の方で考えていますので。あと来年度の教育の概要を提案したいと思っています。そこで町長の承認を得て学校等へ流したいと思っています。それ

を2月くらいに開催して議題としたい。

町長 : 前回も2月に行っていますので。

教育長 : また、日程等の調整も必要です。

吉澤課長 : 他にありませんでしょうか。無いようなら本日は、長時間ありがとうございました。令和3年度第1回総合教育会議を終了いたします。ご苦労様でした。